



大阪故鉄(株) SDGsレポート2021

2021年4月～2021年12月



大阪故鉄(株)は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

当レポートについて

- 当レポートを通じて、大阪故鉄株式会社が掲げたSDG s の目標に対する2021年の取組みを報告いたします。（2021年にて、S D G s の取組みの期限を一部変更しております。* 1）
- 当レポートは2020年に大阪故鉄株式会社が宣言したS D G s の取組みに対しての進捗状況や活動内容の報告を目的に作成しております。
- 当レポートの該当期間は、2021年4月～2021年12月になります。* 1

* 1)

大阪故鉄株式会社、レポート報告は年度単位（4月から翌年3月）を元に作成していましたが2022年より年単位（1月～12月）に変更しております。詳細は次ページ。

*1) 大阪故鉄株式会社SDGsレポート基本月変更の件

・【変更点】

変更前：年度にてレポート作成（4月～翌年3月）

変更後：年単位にてレポート作成（1月～12月）

【変更理由】

・カーボンニュートラルの重要性が増す中、当社も脱炭素化に向けて自社から排出するCO2排出量の削減に努めることを長期的目標（2030年）と設定。

CO2排出量削減の取組みをSDGsと組み合わせ、今後2030年に向けて行動を開始。

- ・自社のCO2排出量の選定に、電力・燃料（ガソリン、軽油、プロパン）等の年間使用量の把握が必要。この把握を年度から年単位にすることで把握が迅速になり、CO2算定に掛かる労働環境の改善に繋がる。（SDGs行動）
- ・以上のことから2021年レポート以降は年単位（1月～12月）へ変更し、変更年である2021年は、2021年4月～2021年12月までの8カ月間でのレポートとする。

1. 貧困を無くそう



大阪故鉄(株)は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

□ 安心した職場環境と給与の支給



- 安定した給与の支給実施（2020年比、支給額増額）
- 全社員の昇給の実施（社員外の役員・再雇用者除く）
- 2021年4月、社員の健康維持向上を目指し『健康宣言』表明
- 全社員への個別面談を実施、各種要望の確認
- 全社員に「リスクアセスメント」を実施、職場の危険個所の洗い出しと危険個所の補修・改善実施（10カ所実施済）
- コロナ対策継続実施→2021年感染者発生数0名
- 第15回安全衛生研修会実施（WEB形式）

7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに



大阪故鉄は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

□ CO2の排出量を軽減し、脱炭素化社会に貢献



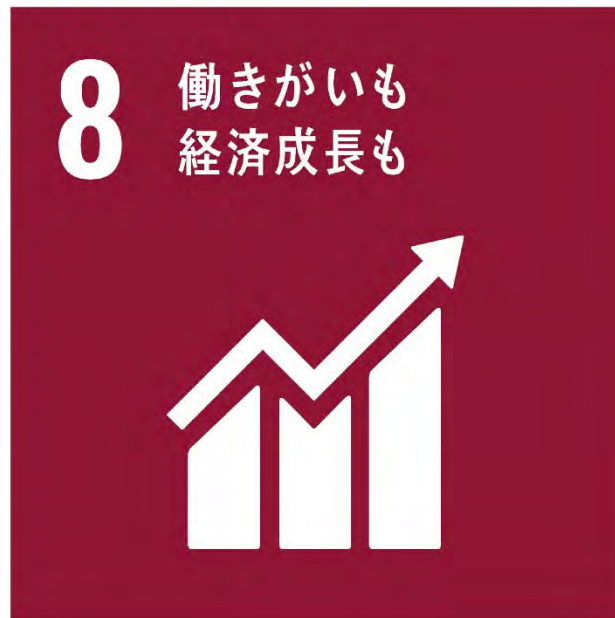
- 工場内使用の重機・リフト・構内車の燃料を化石燃料の軽油から天然ガスから精製されたGTL燃料へ変更
→約4,922kgのCO2排出量削減。(計算方法 * 2)
- 営業車に環境対応車 (HV車) を1台追加
- 遠方への鉄スクラップ輸送のモーダルシフト化 (車両系→船)
→約498,000kgのCO2排出量の削減 (計算方法 * 3)

8. 働きがいも経済成長も



大阪故鉄㈱は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

□働きやすい職場環境作りと生産性向上



- 諸福営業所の1階事務所・応接室、2階会議室の壁紙の全面張替え、事務所内の照明のLED化による労働環境向上
- 両工場へ自動精算機導入→事務負担の軽減及びDX化
- 両工場にWEBカメラ設置→DX化促進による働き方改革推進
- 福利厚生の実質化（会員制宿泊施設/エクシブ契約）
- 両工場にて『中小規模事業場労働安全衛生評価事業（JISHAグッド・セーフティー・カンパニー）』に登録。第三者機関による監査にて工場＆事務所の安全衛生の認定取得。

12. つくる責任 つかう責任



大阪故鉄㈱は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

□鉄スクラップの回収と供給で循環型社会を支える



- 製鋼原料の安定供給の達成（2020年比129%）
- コンプライアンス違反 0
- 諸福工場へ放射線探知機導入
- 現場社員の休憩室にタブレット設置、両工場のリアルタイム在庫および加工状況の把握を実現
- 経済産業省から「令和3年度 事業継続力強化計画」の認定を取得。

13. 気候変動に具体的な対策を



大阪故鉄(株)は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

□ 環境認証の取得と環境車の導入



- 両工場でIS14001:2015認定取得
- 2030年までに営業車の環境適応者比率を60%にする
→2019年22%→2020年33%→2021年44% (リース含)
- 防火訓練・緊急時での安否確認訓練実施
- 熱中症対策として送風機付きの作業着導入
- 鉄スクラップの高炉メーカーへの供給によるCO2削減に貢献
- GTL燃料への切替によるCO2排出量削減



大阪故鉄株は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

17.パートナーシップで目標を達成しよう

□ 持続可能な社会に向かって一緒に行動する仲間を作る



- SNSを活用した自社の取り組み内容の発信 (Instagram, Twitter)
- SDパートナー支援協会第3回年次総会参加 (WEB)
- 取引先への情報発信 (LINE)
- SDGs 関連の講演会等への参加
- SDGs ETへの参加

個別重点取組み案件に関する報告



大阪故鉄株は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

□取組み案件（2020年発表分）

- グッド・セーフティー・カンパニー取得
- ISO14001取得を目指す
- 健康優良法人の取得を目指す
- 環境対応車への導入促進
- カーボンニュートラルへの貢献

□取組み結果報告

- グッド・セーフティーカンパニー認定
- ISO14001:2015 取得
- 2022年の健康優良法人取得予定
- HV車1台追加導入
- 構内利用の軽油をGTL燃料へ変更

2023年以降の取組み目標

□取組み目標案件

- 自社工場から排出されるCO2量の把握
- カーボンニュートラルに向けた具体的な目標数値の設定
- 健康優良法人の取得
- 環境対応車への導入促進
- SDG s を共に推進する企業等との交流
- D X 化の推進



大阪ガス(株)は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

参考資料

* 2) GTL燃料へ全量入替（2021年5月）以降、GTL燃料57,731 kg 使用。
経済産業省のCO2排出係数を元に軽油とGTLのCO2排出量を算定し削減数量を計測。
算出方法： 軽油 2.58kg-CO2/L ， GTL 2.36kg-CO2/L

* 3) 「従来トンキロ法」に基づき算出

大阪故鉄から降ろし地Aへ陸送で走る際に発生するCO2排出量を①とする

大阪故鉄から港へ陸送で走る際に発生するCO2排出量を②とする

港～揚げ地へ船で運ぶ際に発生するCO2排出量を③とする

①－（②＋③）＝モーダルシフト化により削減したCO2排出量

【算定式】

①距離（大阪故鉄～目的地km）×ト、数×営業用トラックCO2排出係数（173g-co2/t/km）× 1 /1,000,000

②距離（大阪故鉄～港km）×ト、数×営業用トラックCO2排出係数（173g-co2/t/km）× 1 /1,000,000

③距離（港～揚げ港）×ト、数×内航船CO2排出係数（39g-co2/t/km）× 1 /1,000,000